

自動車整備科・一級自動車工学科・ 自動車整備スポーツメカニクス科		2023年		授業計画	
時期	1年D巡	単元	実習	教科名	電気3 (エンジン電装)
科目	自動車整備	教科書等 持参品	3級自動車ガソリンエンジン	発行日	2023.4.1
			2級自動車ガソリンエンジン		
総時限	32時限		電装品構造	教科担当	三浦
必要時限	32時限		実習ノート/サーキットテスト		安生
指導教員の実務経験					
<span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">該当</span> <span style="margin-left: 20px;">非該当</span>					
自動車整備士として、電気装置整備の実務経験がある教員により電装品の点検、測定、故障診断等について指導する。					
教科の目的 (この学科の狙い、目的を明確に記入)					
①エンジン電装品の構造、機能を理解する。					
②エンジン電装品の点検、故障診断の判定が出来る。					
授業の到達目標 (何を理解し何が出来るようになるのか)					
①始動装置の構成部品、名称、作動、電流の流れが理解出来るようになる。					
②スタータモータの分解、組立、点検 (試験)、故障原因探求が出来るようになる。					
③充電装置の構成部品、名称、作動、電流の流れを理解出来るようになる。					
④オルタネータの分解、組立、点検 (試験)、故障原因探求が出来るようになる。					
⑤点火装置の構成部品、名称、電流の流れ、点検が出来るようになる。					
⑥点火時期の確認、点検、調整が出来るようになる。					
⑦エンジン電装品の配線図からの回路の抜き出し、点検が出来るようになる。					
⑧サーキットテストによる電気回路の測定、故障判定が出来るようになる。					
⑨充電器の取り扱いが安全に出来るようになる。					
学習評価 (期末試験での主な試験項目)					
1) 履修試験での学習評価 実技試験 50点、筆記試験 50点にて総合評価する。 整備科、SPM科 60点以上で合格、工学科 70点以上で合格。					
2) 出題試験項目					
1. 実技試験			2. 筆記試験		
①スタータモータの点検、判定。		①始動装置の構造、機能。			
②オルタネータの点検、判定。		②充電装置の構造、機能。			
		③点火装置の構造、機能。			
準備学習					
事前に次回の授業内容範囲を予習して、実習ノートを読んでおき、授業内容や質問事項等を学習する。					
実習ノートをもとにテキストを用い、エンジン電装品の構成装置の名称、役割、目的を事前に調べてまとめておく。					

